

# 看護師を多数配置

有料老人ホーム 住宅型 相次ぎ開設  
運営の Cosmos

## 24時間体制でケア



診療所を併設する「ナーシングホームあい 暖」  
(前橋市)。職員120人のうち55人が看護師

介護度が4と重度の人が多く介護報酬収入が多いため、利用料金を抑えられるという。これほど態勢が整った施設は全国でも少なく、施設関係者や開設を検討している事業者から問い合わせが相次いでいる。同社はノウハウの提供にも積極的で、埼玉県の医療法人が8月に開所する施設で運営を支援。10月には同社で学んだ看護師らが、高橋市内でフランチャイズの形態で施設を開く。

有料老人ホーム運営のコスモス(前橋市川曲町、小和田幾野社長)は、看護師を多数配置して医療的処置を24時間体制で行う住宅型有料老人ホームを相次いで開設している。4月に伊勢崎市で開いたのに続き、7月には安中市で開所する。医療が必要な要介護度の高い高齢者向け住宅の需要は一層高まるとみて、ノウハウを伝授するコンサルティング事業やフランチャイズでの開設にも乗り出す。

安中市で開所するのは同社の4カ所目の施設。自力で食事ができず経管栄養をしている人の入居を募る。呼吸や脈拍などを感知するシステムをベッドに装備。職員のほぼ半数が看護師で、介護に加え、必要な医療的処置を行う。

施設のコンセプトは「医療が必要な重度者の受け皿となる住宅」。前橋、高崎、伊勢崎の3市で運営する施設のスタッフもほぼ半分が看護師。酸素吸入器や人工呼吸器が停電の影響を受けないように自家発電装置を備えている。

訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所などを併設し、前橋市の施設「ナーシングホームあい 暖(ぬくもり)」には敷地内に診療所がある。利用料金は月額14万18万円と、東京都内にある同様施設の半分以下。入居者の平均要

看護師でもある小和田社長は「施設と医療は切っても切れない関係。看護師がいると、介護職や入居者の家族、施設経営者が安心できる。こうした施設が各地で増えるように取り組んでいきたい」と話している。問い合わせは同社(027・289・3300)へ。